

令和2年度多職種連携会議開催報告

【中央区】

1 千葉寺圏域

日時：令和3年2月15日（月）

講演：東葛総合法律事務所

萩原弁護士

参加：52名

形式：オンライン（ZOOM）

利用者(患者)及びその家族との
よりよい関係を構築するために
～ある多問題家族の支援を通して～

千葉市あんしんケアセンター千葉寺

〈抽出された課題〉

医療・介護の現場において、患者・利用者やその家族との関係づくりに課題を感じている専門職の意見が多く寄せられています。

特にコロナ下で、サービス利用が多様化、複雑化している中、専門職間で情報を共有し、ディスカッションすることで、クライアントに寄り添った対応とは何かを確認する一方、明らかな不当要求やカスタマーハラスメントについては、法令に基づいた毅然とした対応が必要な場面もあるということについて、弁護士を招いて講演していただきました。

このことは事業所だけではなく、地域で対応を考える必要があるとの課題を得ました。

2 浜野圏域

日時：令和3年3月19日（金）

事例：身寄りのないケースの対応
について

①死後事務

②遺留金等の取扱い

参加：12名

形式：オンライン（ZOOM）

〈浜野圏域多職種連携会議〉

（目的）

個別事例から浮かび上がった課題について共有し、状況に応じた対応方法やそれぞれの役割の理解、地域に不足している仕組みやどのような仕組みがあれば安心して在宅生活を継続していけるか、多職種の視点で検討する。

〈抽出された課題〉

身寄りの無い独居高齢者が増加傾向にあり、本人が施設入所を希望しても、経済面や身元引受人の問題で、入所できないケースが増えています。結果として地域において独居生活を継続するしかなく、終末期や支援終了後の対応をどのようにしたらよいか、ケアマネジャーなど地域の専門職の悩みとなっています。

このような場合、担当する専門職の「経験値」に頼っている実情があり、エンディングサポートの必要について意識を高めていく必要があるとの課題を得ました。

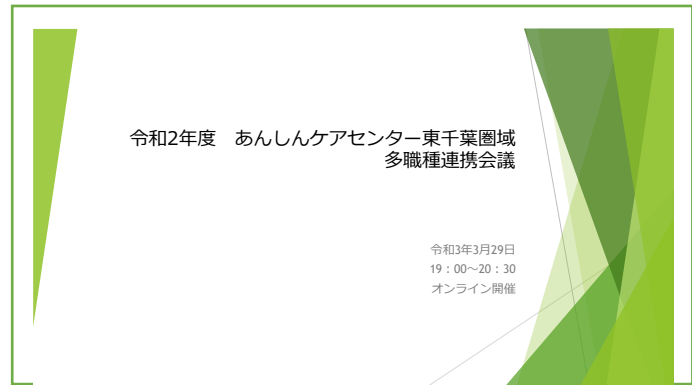
3 東千葉圏域

日時：令和3年3月29日（月）

講義：新型コロナについて

参加：32名

形式：オンライン（ZOOM）



〈抽出された課題〉

新型コロナ下で、圏域の事業所がどのように活動に取り組んでいるかを発表いただき、コロナ下で苦労した点や、感染症対策の工夫など、様々な取組みを共有しました。

ZOOMのブレイクアウトセッション機能を活用した、グループディスカッションでは参加者それぞれのコロナ下での状況を伝えあいました。

コロナ下でも、このように連携を図ることができる取組が、今後の課題となっていくということを、参加者で共有しました。